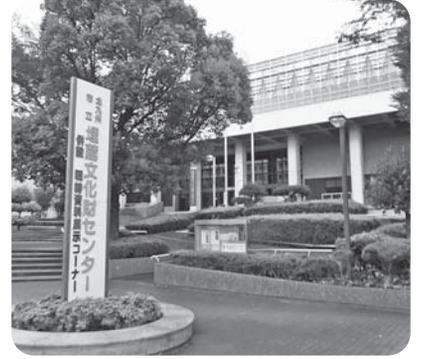


9月末に終了した決算議会では、市長が平和資料館の建設を検討する、と答弁するなど、これまで市民が要望してきたいくつかの問題が前進しました。成果や議会での議論などを紹介します。



(「戦時資料展示コーナー」がある、小倉北区の埋蔵文化財センター)

9月議会で市民の要望が前進

平和資料館 建設を検討と表明

9月議会で市長は、平和資料館の建設を検討すると答弁しました。日本共産党はこれまで、その建設を再三要望してきました。しかし、市はこれまで、小倉北区にある埋蔵文化財センターに、「戦時資料展示コーナー」を作ることでごまかしてきました。真に平和の大切さを訴える資料館にするために、市民とともに様々な提案をしていく必要があります。

就学援助 新入学学用品費を前倒し支給

就学援助は、収入が少ない家庭への学用品費の補助をする制度ですが、新入学の際の学用品費の補助金支給が、入学後の5月でした。これでは入学の準備には間に合わないと指摘して、入学前に支給にするよう求めていました。9月議会で市は、希望者には3月に前倒しして支給するように改善しました。

就学援助の新入学学用品費

| | |
|-------|---------|
| 小学1年生 | 20,470円 |
| 中学1年生 | 23,550円 |

公共施設 長寿命化計画を策定すると答弁

小中学校や市営住宅の外壁が、老朽化で相次ぎはがれて落下しています。日本共産党は適切な予防対策の実施とともに、建築物の長寿命化や学校の大規模改修計画を作るように提案。市は、長寿命化等の裁量的経費についてマイナスシーリングをやめて施設保全の計画を策定すると答弁しました。



(天井がはがれている校舎の出口。高槻小学校)

こども医療費助成を拡大

ことし10月から、こども医療費助成が、通院でも「就学前」から小学校6年生まで拡大されました。一方、これまで就学前まで無料だった医療費が、3歳以上は一部負担が導入されるという改悪がされました。

一方、入院に関しては、従来の一部負担や所得制限、いったん窓口で全額支払ってあとで返金される償還払い制度がなくなりました。

通院、入院とも義務教育期間の中学校卒業まで完全に無料化することが今後の課題です。

通院の一部負担金の金額

| | |
|---------|---------|
| ・2歳まで | 無料 |
| ・3歳～就学前 | 600円/月 |
| ・小学生 | 1200円/月 |

※3歳～就学前の一部負担は2019年3月まで500円

一方

介護保険は改悪

ことし4月から、介護保険で特別養護老人ホームに入れる人は、原則要介護3以上になったのに続き、10月からは「要支援1, 2」の人が介護保険から外されて、市の「総合事業」に移行しました。

「総合事業」では、軽度者へのホームヘルプサービスは、ヘルパー資格がなくても一定の研修を受けた人ができるうえに、報酬単価も引き下げられるために、事業所の収入が減ります。

高齢者福祉を、「持続可能な制度にする」として次つぎ改悪していますが、これでは制度の「持続」はできても、介護高齢者の生活も介護事業者も持続できなくなります。

制度変更がされても、介護認定の申請は従来通り受け付けるべきだと日本共産党は要求。市は申請権は認めると約束しています。

10月から(2016年)

FOR ONE MILLION SMILES

100万人の笑顔のために

市議会ニュース

2016・10・29

No.523

発行 日本共産党北九州市会議員団 北九州市小倉北区内1-1 TEL (093) 582-2646・FAX (093) 582-4113

ホームページアドレスが変わりました⇒ 日本共産党北九州市議団 <http://www.jcp-kitakyu.jp/>



9月議会 (決算議会) の 焦点、論点

焦点

3セク債

2015年度の決算で最大の焦点が3セク債です。広大な海を埋め立てたものの土地が売れずに事業が破たんしました。その穴埋めのために404億円の借金をしたものです。

当然、ツケは市民に回ります。20年間で返済しますが、利子も含めると452億円。さらに今後、売却地のインフラ整備に60億円を見込み、総額で一般会計からの支出は512億円です。

市は、未売却地が全部売れば311億円の収入になる、といいますが、仮にそうなっても差し引き186億円は今後、市民の重たい負担として残ります。

日本共産党は、全面的な総括と市民への説明責任を果たすように求めました。

論点

学校の大規模改修

エアコン設置の次は、学校の大規模改修に力を入れるべきだと、日本共産党は指摘しました。現在、30年以上たった老朽校舎は90校。年間2校のペースでしか改修が進んでいません。

市は、公共施設の大規模改修、長寿命化の計画をつくることを約束。来年度予算編成にあたって、学校の改修等の老朽化対策は、「別枠での要求を可とする」との方針を示しました。

JR駅無人化

JRが筑豊線の若松駅や中間駅など7駅の無人化を決めた問題で、日本共産党は9月議会で、「みどりの窓口」廃止で定期券や全国の切符購入ができなくなり、障害者などがより危険になる等を指摘して、JRに中止を要請せよと市に迫りました。

市は、すでに中止を申し入れていると答弁。その後、日本共産党の提案で若松区の市議6人全員で、JRに中止を要請しました。



<他党の質問より>

●大型開発の推進を求める

9月議会、自民党は第2関門橋（下関北九州道路）の建設促進を要求しました。

一方、公明党は、東九州新幹線を北九州空港を經由するルートにするよう主張しました。

第2関門橋にしる北九州空港への鉄道建設にしる、壮大なむだ遣いであるうえに、建設後の採算がとうていとれないとして、いったんは凍結された大型事業。選挙前のこの時期にまたぞろ言い出したのは、大手ゼネコンの選挙支援を期待してのことなのでしょうか？

●新スタジアムで苦言

「市民の中には、建設に賛否両論ある」「ギラヴァンツがJ1どころかJ3になったら、批判されるのはわれわれ議員だ」。

来年1月完成の新スタジアムを前に、ギラヴァンツの成績が低迷しているために、9月議会では自民議員があいつぎ苦言を呈しました。自民の支持者にも、新スタジアム建設に反対の声は強いようです。

●「夏休み短縮は？」と公明が質問

公明党の市議が、先の議会に続いて9月議会でも、学校にエアコンが導入されていることを踏まえて、「夏休みの短縮はどうなるのか」などと、またしても質問しました。

夏休み短縮を明確に主張しているわけではありませんが、なぜそんなに繰り返すのか、疑問です。

主な意見書・決議に対する態度

| <意見書・決議名> | <賛成会派> |
|-----------------------------------|-------------|
| ・返還不要の給付型奨学金の創設及び無利子奨学金の拡充を求める意見書 | 全会一致で採択 |
| ・同一労働同一賃金の実現を求める意見書 | 同上 |
| ・有害鳥獣対策の推進を求める意見書 | 同上 |
| ・北朝鮮の弾道ミサイル発射及び核実験に強く抗議する決議 | 同上 |
| ・アスベスト対策に関する意見書 | 日本共産党、ハートフル |
| ・環太平洋パートナーシップ（TPP）協定の筋合意に関する意見書 | 日本共産党、ハートフル |
| ・日米地位協定の抜本的見直しを求める意見書 | 日本共産党 |
| ・被災者生活再建支援法の改正を求める意見書 | 日本共産党 |

日本共産党各議員の常任委員会配置

(◎は委員長、○は副委員長)

| 総務財政委員会 | 建築消防委員会 | 環境建設委員会 | 保健病院委員会 | 教育水道委員会 | 経済港湾委員会 |
|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 柳井 誠 | 石田 康高 | ◎八記 博春 | 荒川 徹 | 藤沢 加代 | ○田中 光明 |
| | | 波田 千賀子 | ●大石 正信 | | 山内 涼成 |

●印は議会運営委員